

東京都立墨田川高等学校 令和7年度（3年次用）公民科 倫理

教科：公民 科目：倫理（文系必選①） 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択科目履修者

使用教科書：（東京書籍『倫理』）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を願うことや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	A 人間としての在り方生き方の自覚1〔人間の心のあり方〕 【知識及び技能】 個性、感情、認知、発達などに注目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心のあり方について理解させる。 また、関連する諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返って、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 人間の特質 青年期の課題 認知心理学 感情心理学 性格心理学 発達心理学 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 個性、感情、認知、発達などに注目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心のあり方について理解することができる。 また、関連する諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返って、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
	B 人間としての在り方生き方の自覚2〔古代ギリシアの思想〕 【知識及び技能】 幸福、愛、徳などに着目させ、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観や世界観について理解させる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 古代ギリシアの自然哲学 ソクラテス プラトン アリストテレス ヘレニズム・ローマ時代の思想 ・教材 教科書 補助教材『最新図説 公共』（浜島書店） 授業用ワークシート（デジタル版）	【知識・技能】 幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観や世界観について理解することができる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	8
	第1 回定期考査				○	○	○
	C 人間としての在り方生き方の自覚3〔世界三大宗教の思想、中国思想〕 【知識及び技能】 幸福、愛、徳などに着目させ、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観や世界観について理解させる。また、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解させる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 キリスト教思想 イスラームの思想 仏教思想 中国の思想 芸術の意義 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観や世界観について理解することができる。また、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解することができる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	7

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
前期	D 人間としての在り方生き方の自覚4〔近代思想①〕 【知識及び技能】 善、正義、義務や真理、存在などに着目させ、社会の在り方と世界や人間の在り方、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観、世界観について理解させる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 近代科学の思考法 経験論と合理論 啓蒙思想 社会契約説 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 善、正義、義務や真理、存在などに着目させ、社会の在り方と世界や人間の在り方、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観、世界観について理解することができる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
	第2回定期考査			○	○	○	1
前期	E 人間としての在り方生き方の自覚5〔近代思想②〕 【知識及び技能】 善、正義、義務や真理、存在などに着目させ、社会の在り方と世界や人間の在り方、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観、世界観について理解させる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 人格の尊厳と人倫の思想 功利主義の思想 社会主義思想 社会の進歩と実証的思想 実存主義 プラグマティズム 現象学 言語哲学 構造主義 公共性に関する思想 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 善、正義、義務や真理、存在などに着目させ、社会の在り方と世界や人間の在り方、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観、世界観について理解することができる。 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	12
	第3回定期考査			○	○	○	1
後期	F 国際社会に生きる日本人としての自覚1 【知識及び技能】 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりに置いて理解させる。 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 日本人の精神風土 仏教の受容 仏教の日本的展開 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりに置いて理解する力を身に付けている。 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
	第3回定期考査			○	○	○	1
後期	G 国際社会に生きる日本人としての自覚2 【知識及び技能】 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりに置いて理解させる。 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 儒教の受容 儒教の日本的展開 国学の形成と展開 庶民の思想 幕末の思想 近代化と啓蒙思想 キリスト教の受容 社会思想の展開 近代的な自己の追求 近代日本の創造的な思想 戦後思想の動向 グローバル化と日本人 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりに置いて理解する力を身に付けている。 古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	9
	第3回定期考査			○	○	○	1

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
後 期	H 現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 生命、自然、科学技術などと人間との関わりや、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見出し、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして考察する技術を身に付けさせる。 また、これらの課題について、様々な他者との協働、共生に向けて、他者と対話を進める力を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、自身の考えを説明、論述することができる力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 以下のテーマから選択した課題探究学習 生命科学や医療技術の発達 自然保護や動物愛護、地球環境問題 持続可能な社会の形成 人工知能（AI）や先端科学技術の利用と人間生活 異文化理解、共生社会 文化と宗教 福祉の倫理的課題人類全体の福祉の向上 平和な世界の構築 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 生命、自然、科学技術などと人間との関わりや、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見出し、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして考察する技術を身に付けている。 また、これらの課題について、様々な他者との協働、共生に向けて、他者と対話を進める力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、自身の考えを説明、論述することができる力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	4
	第4回定期考査			○	○	○	1
	H 現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 生命、自然、科学技術などと人間との関わりや、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見出し、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして考察する技術を身に付けさせる。 また、これらの課題について、様々な他者との協働、共生に向けて、他者と対話を進める力を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、自身の考えを説明、論述することができる力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。	・指導事項 以下のテーマから選択した課題探究学習 生命科学や医療技術の発達 自然保護や動物愛護、地球環境問題 持続可能な社会の形成 人工知能（AI）や先端科学技術の利用と人間生活 異文化理解、共生社会 文化と宗教 福祉の倫理的課題人類全体の福祉の向上 平和な世界の構築 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート	【知識・技能】 生命、自然、科学技術などと人間との関わりや、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見出し、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして考察する技術を身に付けている。 また、これらの課題について、様々な他者との協働、共生に向けて、他者と対話を進める力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、倫理で学んできた概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、自身の考えを説明、論述することができる力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	2
I 大学入試問題への対策 【知識及び技能】 古今東西の広い知的蓄積をふまえ、現代の諸課題や人間や社会の在り方生き方に関わる情報を使って大学入試問題に取り組む力を育む。 【思考・判断・表現】 古今東西の広い知的蓄積を使い、大学入試問題を通して、現代の諸課題について多面的・多角的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 古今東西の広い知的蓄積を生かして、主体的に大学入試問題に取り組ませるとともに、入試問題を通して現代の諸課題について考えさせ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。	・指導自校 入試問題演習 ・教材 教科書 補助教材『アプローチ倫理資料PLUS』（東京法令出版） 授業用ワークシート 共通テスト過去問	【知識及び技能】 古今東西の広い知的蓄積をふまえ、現代の諸課題や人間や社会の在り方生き方に関わる情報を使って大学入試問題に取り組む力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 古今東西の広い知的蓄積を使い、大学入試問題を通して、現代の諸課題について多面的・多角的に考察する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 古今東西の広い知的蓄積を生かして、主体的に大学入試問題に取り組む力を身に付けているとともに、入試問題を通して現代の諸課題について考え、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○	20	
合計							78